

汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきました

参加者募集

親子で体感！南三陸わくわく探検隊！

今年も、白石市との体験交流事業が開催されます！
 昨年行なわれた「第1回五感で学ぼう！親子で学ぼう！南三陸わくわくツアー」では、総勢36名が参加し、新鮮な海の幸に舌鼓を打ちながら、親も子も和気藹々で市町交流を行ないました。
 南三陸町に住んでいながらまだ漁船に乗ったことがない！町外からの友達と仲良くなりたい！という積極的な親子も大歓迎です！ぜひこの機会と一緒に南三陸を味わってみませんか。

- ◆開催日時 7月11日(土) 午前11時～午後4時
- ◆募集人員 小学生以上のお子様がいる親子8組
 ※保護者1人につき、お子様が複数名でも構いません。
- ◆集合場所 歌津魚竜館前駐車場
- ◆参加費用 大人2,000円、子ども1,500円
- ◆探検内容 11:00～ 参加者全員で対面式(魚竜館前)
 12:00～ 昼食(魚竜館内食堂・三陸海鮮丼)
 13:00～ 南三陸の海を学ぼう！
 14:30～ 伊里前湾・漁業体験
 (養殖いかだの見学、試食付)
 16:00 解散
- ◆応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、南三陸時間旅行サポートセンターまで提出してください。
 FAX可(47-2160)



＜応募用紙設置箇所＞

- 役場本所窓口 ○歌津総合支所窓口 ○各公民館 ○スポーツ交流村 ○平成の森
- おさかな通り「汐風カフェ」 ○南三陸時間旅行サポートセンター(役場産業振興課内)
- ◆募集期間 6月1日(月)～6月30日(火) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
- ◆問い合わせ 南三陸時間旅行サポートセンターまたは企画課(☎46-1371)まで

出前

ふるさと観光講座やっています！

南三陸時間旅行サポートセンターでは、平成19年から開催している「ふるさと観光講座」を今年度も引き続き開講します。今年度は、各団体やグループなどから要望のあった皆さんのもとへ、先生方と一緒にこちらから出向く「出前講座」のスタイルで開催します。行政区の集まりや、学校のホームルームでの活用など、あらゆる場面にご利用いただけます！ぜひこの機会に南三陸町の魅力に触れてみませんか。

【ふるさと観光出前講座 開催要項】

- 実施期間 6月1日から9月末まで
- 講座内容 南三陸町の歴史・地理・自然・文化に係る講座及び現地研修など
- 講師 ふるさと研究会など
- 対象団体 特に問いませんが、5名以上のグループ等でお申込みください。
- 開催費用 無料。ただし、会場については受講者で準備してください。
- 申込方法 受講を希望する日の2週間前まで南三陸時間旅行サポートセンターへご連絡ください。



庄内の風 33

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

新緑に彩る初夏の風物詩 「第40回あまるめ植木金魚まつり」



植木や季節の花・鉢物が一同にそろい、庄内金魚(尾ヒレが著しく伸長し、下方にたれさがっていることから振袖金魚とも呼ばれる金魚で、庄内町余目地区で大正時代に誕生した。)をはじめ、

いろんな金魚もいっぱいです。楽しい露店など約20店舗が並び、このまつりには県内外から多くの方が訪れます。今年40回目を記念して様々な日替わりイベントが開催されます。また、同時開催として13日には、昨年と同様にカートソレイユ最上川より、楽しいバッテリーカーがやってきます。会場にはバッテリーカーの特設会場が設置され、消防車などをモチーフにしたバッテリーカーを体感できます。

- ◇日時 6月9日(火)～13日(土)
 午前9時～午後8時
- ◇場所 ショッピングモール「アピア」南側駐車場
- ◇日替わりイベント
 10日(水) 盆栽の剪定講習会では整枝剪定等の実技指導(盆栽を持参ください)
 11日(木) 愛好家が丹精込めて育て上げた庄内金魚・観賞魚の品評会
 12日(金) ビアガーデン開催
 13日(土) 個人戦、団体戦で競い合う金魚すくい大会

◇問 庄内町観光協会(商工観光課 観光物産係)
 ☎0234-42-2922



夢大使 リレー通信 35

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。
 今回は、在京志津川会顧問の高橋登米治さんです。

年齢を重ね故郷に思いを馳せて

夢大使
 たか はし とめじ
高橋 登米治さん
 (神奈川県厚木市)



夢大使を拝命して、間もなく三年になるうとしております。そして、三回目のリレー通信寄稿となりました。前回までは、「在京志津川会会長」の肩書きで投稿いたしました。が、今回は、「顧問」という立場で書かせていただきます。すなわち、平成二十年六月三十日付けで会長を退任いたしました。

会長在任中は、佐藤町長をはじめ役場の皆様、町内商工団体、そして一般市民の皆様には多大のご支援ご協力を賜り、この紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。平成二十一年度は、後任の丸山会長体制で運営に当たり、来る六月七日(日)に「第十五回親睦大会」が開催実施される運びとなりました。つきましては、南三陸町はもとより、町内商工団体と町民の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、平成二十年八月二十二日付の週刊朝日に、「南三陸町志津川のタコを食え」と題して、嵐山光三郎氏の「タコ」談義が掲載されましたが、その中で、「世界中で獲れているタコの三分の二を日本人が食べている。世界のタコの

総漁獲量は、年間二十五万トンで、日本人は十六万トンを食べる。」と書かれていました。私も、これには、いささか驚きました。更に、何気なく「タコの足」と呼ばれている部分は、腕と呼ぶのが正しく「四対八本の腕」と呼ぶのが正しい。更にさらに、「頭に見えるのは、内臓が入った胴体の部分で、頭は、胴体と腕の間の目の近くにある。」とのこと。

去る正月の「新春のつどい」や、また、地域自治会等の会合の席上で、この話題を出したところ驚きの声が上がりました。その話題も含めて、南三陸町ふるさと納税制度贈答用特産品カタログ等を活用して、特産物の紹介をするなかで自然と会話が弾んでいます。同時に、「南三陸町夢大使」の知名度も、徐々に浸透しているかなあ。と自惚れています。

今年も、近くの公園の桜も満開となり、三十年になる樹齢からは、「今年も元気に咲いたぞ。お前も頑張れ！」というメッセージが伝わってくるような、癒される自分に気付く不思議な「年齢」を感じております。